

経済学部卒業生に限らず理工系からも受験可

入学試験 じっくり準備できる10月に加え、3月にも実施。

科目は幅広く選択可。

金融プロは1科目。

### 非近経系

入学当初から指導教員を  
決めて個別指導。  
分野ごとにきめ細かく  
モデル履修パターンを用意。

### 近経系

ミクロ・マクロ、  
統計・計量

専門分野の  
履修、  
修士論文の  
個別指導

### 金融プログラム (金融工学副専攻)

ファイナンス  
計量分析等

文理融合

広範な分野で  
最先端の研究成果を  
あげている教員が  
少人数指導。

学内の総合学力試験

博士後期課程

リサーチ・プラクティカム  
(国際・産官学共同研究)

多様な就職機会

# 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究科 経済系

2008年8月

## 1. 入試日程が変わりました。

- 今年度は、**10月20日（月）**に筆記試験、**10月27日（月）**に口述試験が行われます。従来よりも約1か月遅い10月に実施します。
- 他大学の入試日を気にせず、じっくり準備できます。
- 入試科目（筆記試験）の専門科目は、幅広い試験科目から選択できます。
- 入試科目（筆記試験）の専門科目で、ミクロ・マクロ経済学だけでも受験できます。（「ミクロ・マクロ経済学A」「ミクロ・マクロ経済学B」を選択する場合。）
- 「平成21年度国際社会科学研究科学生募集要項（経済学専攻、国際経済学専攻）」で確認してください。国際社会科学研究科ホームページ <http://www.igss.ynu.ac.jp/> の入試情報も参照してください。

## 2. 「金融プログラム」が今年度からスタートしました。

- 金融プログラムは、経済学の主専攻と工学の副専攻の組み合わせによって、経済学、数学、計算科学の知識を兼ね備えた実践性のある人材を育成する大学院プログラムです。修了者がファイナンスの実務の現場などで国際的に活躍できるよう養成しています。
- 「金融工学副専攻プログラム（工学）」を経済学修士とともに、ダブルで修了したと正式に認定されます。（ただし、一定の単位取得の条件あり。）
- 理工系出身者にも適した文理融合コースです。
- 入試科目（筆記試験）の専門科目は1科目のみ。経済数学でも受験できます。（「経済数学」、「ミクロ経済学」、「統計・計量経済学」から1科目選択）
- 詳しくは、金融プログラムのホームページ <http://www2.igss.ynu.ac.jp/YokohamaFinance/> をご覧下さい。
- 入試情報は、「平成21年度国際社会科学研究科学生募集要項（経済学専攻、国際経済学専攻）金融プログラム特別コース募集要項」と国際社会科学研究科ホームページ <http://www.igss.ynu.ac.jp/> で確認してください。

### 3. 経済学の基礎から最先端まで学べます。

- 関心分野ごとに、きめ細かいモデル的な履修パターンが用意されています。
- 近代経済学系では1年目に、ミクロ経済学、マクロ経済学、統計・計量経済学のコアコースを基礎から指導します。
- 世界一流の研究成果を国際的一流学術専門誌に論文を掲載している教員が多数在籍しています。彼らから、少人数での指導を受けられます。

### 4. 修士号取得、就職ともに順調です。

- 入学当初から指導教員を決めて、個別指導が受けられます。
- 修士論文作成では、指導教員の個人指導だけでなく、中間報告会等の機会を通じて、ステップを踏んで指導を受けられます。
- 卒業生は多様な分野で好調に就職先を得ています。

### 5. 博士後期課程進学希望者も体系的に指導します。

- 2年目秋に学内で実施する総合学力試験（コンプリヘンシブ・テスト）に合格すれば、入試を経ることなく後期課程への進学が約束されます。（ただし、修士論文の合格と必要単位の取得の条件があります。）
- 博士後期課程入学当初から指導委員会が組織され、幅広い分野の複数の教員の指導が受けられます。
- 後期課程では、国際共同研究・産官学共同研究プロジェクトへの参加等の機会が得られる「リサーチ・プラクティカム」がカリキュラムに組み入れられています。